

総合的な学習の時間学習指導案

日時 平成21年12月2日(水) 5校時
生徒 洋野町立宿戸中学校 2年A組
男子11名 女子13名 計24名
指導者 教諭 千葉孝行

1 単元名 職場訪問に向けての準備をしよう

2 単元について

(1)教材観

教育基本法第2条(教育の目標)二に「個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと」と明記されたことを初めとして、学校教育法、平成20年度版学習指導要領において、「キャリア教育」という文言では表記されていないものの、その意味にあたる内容が明記されたことからわかるように、この教育は我が国の喫緊の課題として重視されている。また、このことは、本県教育の今後の方向を示す「これからの岩手の義務教育」や学校教育指導指針で重点としてあげられていることから、本県としても重要課題であるといえる。

中学校においては、これまでも「進路指導」を行ってきたが、次のステップである高等学校進学のための指導に偏る傾向がみられたのではないだろうか。これまでの指導を見直し、学校教育全体の中で、3年間の見通しをもち、関連づけながら、様々な体験や実践などを踏まえて、生徒に「よりよい生き方」を考えさせていく学習を進めていく必要があると考える。

職場体験学習や職場訪問は今やどの学校でも行われているといっても過言ではないプログラムである。本校においても今年度7月に盛岡市内を中心に職場体験活動を行った。職場を訪問したり体験したりしたことをもとに、将来の生活をどのように送るかということを考えさせることは、職業観や勤労観を育てる上で、とても重要な学習であると考えられる。しかし、地域や職業の特質などから職種が限定され、本心に生徒の興味・関心に基づいた活動となっていないという現状もある。そこで、修学旅行で向かう東京で職場訪問を行うことにより、できるだけ多くの職種の中から訪問先を選択させたいと考える。また、先に行った職場体験学習で学んだこととの関連を図りながら修学旅行での訪問先を決定するまでの一連の学習において、訪問先で学ぶべき事やその価値を強く意識づける活動を仕組むことで、キャリア教育で求められている能力を育て、自分にとってよりよい生き方を確立していくことができる力を身につけさせたい。

(2)生徒観

小学校6年生の時に近隣の学校と統合になり、数名が加わったものの小学校就学以前から同じメンバーという構成である。しかし、他者の多様な個性を理解し、お互いを認め合う関係までには至っていない。反面、自分の良さや個性については記述結果などからほぼ理解できているというような回答が得られる。

人間関係形成能力のうちコミュニケーション能力については、自分の意見になかなか自信を持つことができず、相手に伝わらない場面が見られる。情報活用能力については、インターネットなどを活用し情報を収集することや体験などを通して努力しなければならないことに気づくことができる。しかし、活用するまでには至っていない。将来設計能力については、職場体験学習を通し、将来の夢や職業を思い描くことができた。また、行事などでは役割の意義は理解していても、積極的に果たそうとしない場面が見られる。意思決定能力については、限られた選択肢ではあったが、その中から自己の個性や興味・関心にもとづいて職場体験先を決定することができた。様々な学校活動において、一部の生徒は自らの課題に対して主体的に解決しようとしている姿は見られるが、ほとんどの生徒が受け身である。

(3) 指導観

本単元では、修学旅行での職場訪問先を決定していく。

訪問したい職場を考える前に、先の職場体験で学習したことを想起させ、関連を持たせたい。そして、職場訪問先での質問を吟味させることで、質問内容の意義を確認し、将来の職業を考えるときに必要な価値観を広げていきたい。このような取組を踏まえることで、自分たちの訪問目的が明確になると考える。また、この後の訪問体験と事後学習において、職業観、勤労観の高まりや現在の生活の見つめ直しと改善が期待できると考える。

教材観・生徒観をふまえ、職場訪問先を決定する前の活動の中に小グループでの話し合いを取り入れたい。個人の活動から班での活動、学級全体での活動と話し合いのグループを徐々に大きくしながら、最終的には学級で意見を一つにまとめたいと考えている。学級で意見をまとめる過程で、話し合い活動の必然性を持たせたい。また、生徒の主体的な活動になるよう指導を行うとともに、意図的な話し合いのグループを作り、話し合い活動を円滑に進めたい。さらに、話し合い活動をもとに、訪問する目的や自らの興味・関心、将来像に基づいて、しっかりと考えた上で訪問先の選択と決定をさせたい。

3 単元の見込み

- ・話し合い活動において、意見交流を行いながら他者の意見と自己の意見とを調整しようとしている。【人間関係形成能力】
- ・自ら訪問する事業所について、インターネットなどを活用し自分の希望にあった事業所の情報を収集することができる。【情報活用能力】
- ・職場訪問の意義を理解し、勤労の大切さや働く人の思いを考えようとする。
【情報活用能力】
- ・将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい事業所を選択することができる。
【将来設計能力】
- ・話し合い活動において、意見交流を行いながらよりよい選択をしようとしている。
【意思決定能力】

4 単元の指導計画

<前単元：職場体験学習>

時	学習内容(指導教科・領域)	学習活動	育てたい能力
1	オリエンテーション (短学活)	・事前のアンケートに記入する (東京で行うことを意識させながらどのような職場を訪問しようと思っているか確認する)	将来設計能力
2 【本時】	訪問目的の検討 (総合)	・訪問先で何を学んでこななければならないかを考える(インタビューする質問の意義を見つめ直すことを通して考えさせる) ・個人の考えをもたせるとともに、グループや全体の話し合いをする	人間関係形成能力 意思決定能力
3 6	訪問先の再検討と事業所の選択・決定 (総合)	・訪問先を再度検討する ・自分の力で事業所を探す ・訪問先を決定する (決定の際には、事前に指導者側から連絡を入れておく)	情報活用能力 将来設計能力 意思決定能力

<後単元：職場訪問とそこから学んだこと>

5 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・話し合い活動において、意見交流を行いながら他者の意見と自己の意見とを調整しようとしている。【人間関係形成能力】
- ・話し合い活動において、意見交流を行いながらよりよい選択をしようとしている。【意思決定能力】

(2) 本時の評価の観点と具体的評価規準

評価の観点／具体的評価基準	満足できる	努力を要する生徒への手だて
話し合い活動において、意見交流を行いながら他者の意見と自己の意見とを調整しようとしている。	班員の意見をよく聞き、上手に調整し、まとめている。	話し合い活動の前までに自分の意見を持てるようにさせる。
話し合い活動において、意見交流を行いながらよりよい選択をしようとしている。	個々の意見を尊重しながら、根拠をもとにまとめている。	他者の意見を参考によりよい選択ができるようにさせる。

(3) 本時の展開

時	学習内容	学習活動	教師の支援・指導上の留意点・評価
導 入 5 分	1 職場体験学習の振り返り	・ 職場体験学習で学んだことについて振り返る	・ 短時間で行う
	2 本時の学習について	・ 修学旅行での職場訪問について見通しをもつ ・ 学習課題とその意味を確認する	・ 事前アンケートの結果を発表し、級友がどのような職業に興味を持っているかを確認させる
学級としてインタビューで必ず聞いておかなければならないことを決めよう！			
展	3 個人で考える	・ 話し合いのために自分自身の意見を持つ（2つ程度）	・ 出てこないときには選択肢も準備しておき対応する（実際に職場体験をしたときのインタビュー項目など） ・ 理由を明確にすることを伝える
	4 グループで話し合う	・ 4人のグループでお互いの意見を交流させ、グループで一つに絞る	・ 事前に司会者に話し合いの手順を指示し、円滑に話し合いが進むようにする ・ 一つに絞る場合、安易に多数決で決めることのないよう、ここでも理由を明確にすることを伝える ・ こまめに時間を伝える ● 人間関係形成能力（観察法）

開	5 班毎の発表をする	<ul style="list-style-type: none"> グループでまとめた質問内容と選択した理由を発表する 	<ul style="list-style-type: none"> 相手に伝えるということを意識させ、発表させる（特に話す速さや声の大きさなどを意識させる）
	6 学級全体でまとめる	<ul style="list-style-type: none"> 学級全体で質問の価値を話し合いながら一つの質問（インタビュー内容）に絞っていく 	<ul style="list-style-type: none"> 最終的には多数決での決定になることも考えられるが、あくまでも質問の価値にせまるように、「理由」をもとに話し合いを十分深める。 一つの質問に絞ることになるが、他の意見も大切にすることを伝える 各自がどの考えを選んでいるのかがわかるようにする。また、話し合いの中で、他者の意見を聞いたことで考えを変えていってもいいことを伝える <p>●意思決定能力（観察法）</p>
終 末	7 本時の内容の意義の確認	<ul style="list-style-type: none"> 本時で学んだことが今後の学習にどのように生かされるかを知る 	<ul style="list-style-type: none"> 今回考えた「質問」が将来、職業を決めるときの大事な要素にもなってくることを伝える 各班や個人で考えた質問についてもそれぞれに価値があることを伝え、考えを広げる
	8 感想の記入	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を振り返って感想を記入する 	<ul style="list-style-type: none"> 数人に発表させる
	9 次時の確認	<ul style="list-style-type: none"> 次の時間の活動内容を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問先の再検討をすることを確認する
35分			
10分			